



みんなで広げる交通安全の輪

【アンビシャスグループ北海道(株)】 ～自動車業界だからこそ！地域とともに、安全な社会を～

アンビシャスグループ北海道(株)とは

アンビシャスグループ北海道(株) (AGH) は、トヨタカローラ札幌(株)や札幌トヨペット(株)を中心とするグループ9社により2021年に設立されたホールディングです。自動車販売、カー用品、レンタカー、整備、保険など様々な角度から快適なカーライフの提供と、交通安全の取組を展開しています。

また、一般社団法人日本自動車販売協会連合会(自販連)札幌支部の一員としての活動も積極的に行っています。

トヨタカローラ札幌(株)
札幌トヨペット(株)
ネットトヨタ函館(株)
トヨタレンタリース新札幌(株)
ジェームスアンビシャス
松本自動車工業(株)
北日本ファミリー
AGH ビジネスサポート(株)
TCSPHI

◆地域とタイアップ！サポートカー体験試乗会で安心を

トヨタカローラ札幌(株)の各店舗では、自治体や警察署、自動車学校などと連携し、地域の高齢者を対象にサポカー体験会を実施しています。参加の皆さんは、スタッフと一緒にアクセルとブレーキの踏み間違い時の急発進抑制や、衝突被害を軽減するブレーキ、さらにはVRシミュレーターを使った運転などを体験。サポカーのできることに驚きの声があがり、たくさんの質問が寄せられました。



また自販連とともに、「みんなの終活フェア」(道新主催)など高齢者を対象としたイベントで、サポートカーや後付け装置を紹介するブースなども展開しています。

高齢者の交通事故が増加している一方で、車は生活に欠かせないもの。高齢者の免許証自主返納に向けた取組が進められていますが、こうしたサポカーの効果を実際に知ることも大切です。

◆各店舗で、地域のこどもたちの見守り活動

アンビシャスグループ北海道(株)の各店舗では、年間4期40日の交通安全運動期間において、地域と一緒に「人の波」に参加したり、子どもたちの登下校時の「見守り隊」として、店舗周辺での交通安全と防犯につとめ地域の安心に貢献しています。札幌トヨペット(株)月寒店では、豊平区が行う「とよひらまちづくりパートナー制度」に参加し、本社のある東月寒地区の小学校に、オリジナルキャラクターの反射ステッカーをプレゼントしました。





◆道南の幼稚園児に交通安全の絵本と紙芝居

ネットヨタ函館を含む道南のトヨタグループ4社では、毎年春の交通安全運動の一環として、渡島、檜山管内の幼稚園、保育園、認定こども園などに交通安全の紙芝居と、園児全員への絵本を贈呈しています。2023年は121園に絵本1万696冊を贈りました。

今年で55年目の贈呈となりますが、例年、代表の幼稚園で贈呈式が行われ、子どもたちと一緒に元気よく交通安全を誓います。

紙芝居や絵本は、トヨタが子どもの交通安全を願い独自に制作しているもので、全国で活用されています。



◆【トヨタ安全かたる】～トヨタ自動車株式会社の交通安全の取組

トヨタは「交通事故死傷者ゼロ」をめざして、「車」「交通環境」「人」を三位一体ととらえ、とりわけ、ドライバーや歩行者という「人」に対する意識啓発活動を、1960年代から推進しています。「トヨタ安全かたる」の想いのもとで進められている取組や、教材・動画などがトヨタのホームページで紹介されています。

<主な内容>

○ドライバーの安全

- ・交通センスを身に着ける「危険予測トレーニング」

○高齢者の安全

- ・トヨタ運動部とアスリートによる「刺激体操」動画
- ・運動能力をセルフチェックできる動画

○子ども向け交通安全

- ・幼児向け交通安全絵本
- ・すごろく、動画、ぬりえ
- ・うんこドリル、NHKが制作した交通安全の歌「ててて」 など



ぜひ、家庭で、幼稚園で、職場で、そしてご自身で楽しみながら交通安全に取り組んでみてください。



←「トヨタ安全かたる」サイト

